

## 作品リスト

No.  
作家名  
作品名  
制作年  
材質・技法  
寸法ほか：高さ×幅×奥行  
(cm)  
備考

### ハイライト

## 作家とスタイル

### A-1

1-1  
横尾 忠則  
《葬列 I》  
1969-1985  
シルクスクリーン・アクリル板  
74.90×114.0×10.50

1-2  
横尾 忠則  
《葬列 II》  
1969-1985  
シルクスクリーン・アクリル板  
74.5×114.0×10.5

1-3  
アンディ・ウォーホル  
《花》  
1975  
毛織物  
213.0×211.4

1-4  
クリスト  
《パリのためのプロジェクト 梱包  
されたボン・ヌフ》  
1984  
鉛筆、木炭、クレヨン、パステル・紙、  
地図  
144.6×165.0

1-5  
河原 温  
《SEPT.8,1984 Today シリーズ  
(1966-2013) より》  
1984  
アクリル・キャンパス  
155.0×226.0

1-6  
阿部 展也  
《作品-ROMA》  
1963  
エンコスティック・板  
146.0×114.0

1-7  
たべけんぞう  
《マグネティック フィールド E-5》  
1993  
ミクストメディア  
60.0×150.0×150.0

1-8  
杉浦 邦恵  
《草間彌生 Ap〈アーティストの書類〉  
2003  
ゼラチン・シルバー・プリント  
73.50×98.0  
国際交流基金より寄託

1-9  
杉浦 邦恵  
《村上隆 B〈アーティストの書類〉  
2003  
ゼラチン・シルバー・プリント  
200.0×150.0  
国際交流基金より寄託

1-10  
サム・フランシス  
《SFP 8 8 - 2 3 3》  
1988  
アクリル・キャンパス  
183.0×305.0

1-11  
岡崎 乾二郎  
《枝の振動が伝わり、幹の裂ける音が聞  
こえ、木と木の間を軽々と、煙と炎が  
進んできたとしても、植物に逃げる足  
はなく、微塵のように灰が降っても、  
防ぐ手だてもありません。ぎっと肚に  
すえかねることだってあるでしょう。  
ためしに聴診器を幹にあててみれば、  
ごとごと、ごうごう空おそろしい騒音  
が響いている。森全体が怒っている、  
正直な気持ち。》  
2004  
アクリル・キャンパス  
200.0×144.5  
2点組(左)

1-12  
岡崎 乾二郎  
《木という木がいま、自分の話に耳を傾  
けているような錯覚がします。ひとた  
び地表に根をおろせば、植物は一生、  
住む土地を変えられないから、もっと  
安全な場所を見つけようなんて考えも  
浮かばないのです。だから羊歯の大き  
な葉と葉が揺れ、その間から物音が聞  
こえてきたとき、みんなも草の中に身  
をすくませたのです。木が生きている、  
その通りに。》  
2004  
アクリル・キャンパス  
200.0×144.5  
2点組(右)

1-13  
山本 圭吾  
《Foot No.3》  
1977  
ビデオ(モノクロ、サイレント)  
10分

1-14  
石内 都  
《ひろしま #71》  
2007/2015  
タイプC プリント  
154.0×100.0  
Donor: Hatamura, T.  
作家より寄贈  
10月20日までの展示

## 保存、残すこと

### A-2

2-1  
吉原 治良  
《コンポジション 53》  
1957  
油彩・キャンパス  
162.6×130.0

2-2  
吉原 治良  
《コンポジション 53》  
修復関連資料

2-3  
中井 恒夫  
《新生》  
1989  
TV、ビデオ、ネオン、鉄板、発光体、  
カラー金属板、他  
200.0×180.0×145.0

2-4  
かつて使用されていた  
中井 恒夫《新生》のVHSとビデオデッキ

2-5  
川俣 正  
《“比燕荘” 京都 1 9 8 8》  
1986-1991  
鉛筆、ベニヤ板、木片  
45.0×122.0×149.0

2-6  
川俣 正  
《“比燕荘” 京都 1 9 8 8》  
1986-1991  
鉛筆、シナベニヤ、バルサ材  
175.0×244.0×26.0

2-7  
川俣 正  
《“比燕荘” 京都 1 9 8 8》  
1986-1991  
写真、木製パネル  
103.0×145.5

2-8  
川俣 正  
《“比燕荘” 京都 1 9 8 8》  
1986-1991  
写真、ガラス  
62.0×85.0×1.5

2-9  
川俣 正  
《“比燕荘” 京都 1 9 8 8》  
1986-1991  
インク、鉛筆、紙  
62.0×85.0×1.50

2-10  
田中 功起  
《Everything is Everything》  
2005-2006  
ミクストメディア  
サイズ可変

2-11  
田中 功起  
《拡張されたアーカイブ Everything  
is Everything の場合》  
2023  
行為、映像記録  
サイズ可変  
広島市現代美術館と実行  
28分28秒

2-12  
竹村 京  
《修復された誕生仏像 1》  
2022  
誕生仏像、合成繊維、金糸  
14.8×5.5×3.2  
作家より寄贈

2-13  
竹村 京  
《修復された誕生仏像 2》  
2022  
誕生仏像、合成繊維、金糸  
16.0×5.5×4.5  
作家より寄贈

2-14  
竹村 京  
《修復された誕生仏像 3》  
2022  
誕生仏像、合成繊維、金糸  
14.7×5.0×3.0  
作家より寄贈

2-15  
竹村 京  
《修復された H.MoCA の VHS ビデオカ  
セットレコーダー》  
2023  
H.MoCA の VHS ビデオカセットレコー  
ダー、合成繊維、群馬産蛍光シルク  
12.0×44.6×47.0  
作家より寄贈

2-16  
竹村 京  
《修復された H.MoCA の Betamax ビ  
デオカセットレコーダー》  
2023  
H.MoCA の Betamax ビデオカセット  
レコーダー、合成繊維、群馬産蛍光  
シルク  
作家より寄贈

2-17  
竹村 京  
《修復された H.MoCA のハロゲンランプ  
(ピンク)》  
2022  
H.MoCA のハロゲンランプ、合成繊維、  
群馬産蛍光シルク  
作家より寄贈

2-18  
竹村 京  
《修復された H.MoCA の電球》  
2022  
H.MoCA の電球、合成繊維、群馬産蛍  
光シルク  
作家より寄贈

## 広島／ヒロシマ

### A-3

3-1  
山本 正道  
《時を購めて》  
1997  
ブロンズ、木に着色  
24.0×381.0×51.5

3-2  
圓鐔 元規  
《望》  
1987  
ブロンズ  
208.6×138.0×94.0

3-3  
ナンシー・スペロ  
《死の灰(原子の灰)》  
1995  
ハンドプリント、コラージュ・紙  
46.0×370.0

3-4  
オノ・ヨーコ  
《HAKO(ハコ)》  
1995  
エナメルで彩色されたブロンズ、ガラ  
ス、テキスト  
箱：10.0×17.5×11.0  
テキスト：34.0×34.0

3-5  
村井 正誠  
《たくましき人々》  
1988  
油彩・キャンパス  
194.3×259.2

3-6  
本田 克己  
《黒い雨》  
1955  
油彩・合板  
122.7×197.5

3-7  
殿敷 侃  
《(は 2)》  
1970  
油彩・キャンパス  
162.10×130.80

3-8  
松本 英一郎  
《さくら-ヒロシマ》  
1988  
油彩・キャンパス  
193.6×259.2

3-9  
若林 奮  
《(DOME)》  
1988  
鉄  
360.0×425.5×220.0

3-10  
若林 奮  
《水鏡》  
1997  
鉄  
28.0×361.0×180.0

3-11  
フィリップ・キング  
《ヒロシマのための記念碑》  
1987-1988  
鋼鉄  
176.0×114.0×68.5

3-12  
丁昌燮 (チュン・チャンスプ)  
《楮 (Tak) NO.87015》  
1987  
繊維・キャンバス  
227.8×162.2

3-13  
島州一  
《ヒロシマの軌跡 1988》  
1988  
ミクストメディア  
109.6×129.7×22.2

3-14  
白髪 一雄  
《暗黒》  
1995  
油彩・キャンバス  
181.5×227.0

3-15  
芥川 永  
《教師と子どもの碑原型》  
1971  
ブロンズ  
45.0×21.0×17.0

3-16  
山本 富章  
《For HIROSHIMA》  
1995  
ミクストメディア  
187.8×182.5

3-21  
殿敷 侃  
《山口—日本海—二位ノ浜 お好み焼き》  
関連資料  
1987  
焼き固めたプラスチック類  
120.0×190.0×190.0  
天野紋子氏より寄託

《アーチ》のメンテナンス

**A-4 出口**

ヘンリー・ムーア 《アーチ》  
修復関連資料

リレーションズ

4-1  
ジョージ・シーガル  
《白い藤椅子の女》  
1982  
石膏、藤  
114.30×94.0×132.0

4-2  
淀井 敏夫  
《夏の雲》  
1956  
石膏、藁、木  
216.0×86.0×40.0  
淀井彩子氏・由利子氏より寄贈

4-3  
アルベルト・ジャコメッティ  
《男の胸像》  
1950  
ブロンズ  
55.2×14.2×15.8

4-4  
アルナルド・ボモドーロ  
《光の槍》  
1985  
ブロンズ  
319.5×46.0×40.0

4-5  
ジャン・アルプ  
《プロフィール》  
1955  
ブロンズ  
31.0×13.5×19.0

4-6  
クルト・シュヴィッターズ  
《小犬》  
1942-1945/1981  
ニッケルシルバー  
41.9×21.0×17.0

4-7  
井上 武吉  
《溢れる NO.1》  
1977  
ブロンズ  
13.0×16.5×16.0

4-8  
三木 富雄  
《耳》  
1965  
アルミニウム  
44.5×26.0×10.5

4-9  
三木 富雄  
《耳》  
1972  
アルミニウム  
45.0×26.0×10.0

4-10  
三木 富雄  
《耳》  
1972  
アルミニウム  
39.0×26.0×9.0

4-11  
ヘンリー・ムーア  
《大きなトルソ：アーチのための  
マケット》  
1962 / 1971  
ブロンズ

4-12  
ヘンリー・ムーア  
《二つに分れた彫刻 No,10：結合の  
ためのマケット》  
1968 / 1984  
ブロンズ  
5.0×9.0×5.5

4-13  
ヘンリー・ムーア  
《二つに分れた彫刻 No,11 のための  
マケット》  
1968  
ブロンズ  
6.5×9.5×8.5

4-14  
ヘンリー・ムーア  
《帽子をかぶった女性立像》  
1975  
ブロンズ  
18.0×7.0×4.5

4-15  
ヘンリー・ムーア  
《三つの直立したモチーフ》  
1977  
ブロンズ  
21.0×20.5×12.5

4-16  
ヘンリー・ムーア  
《カーヴィングのためのマケット》  
1983  
ブロンズ  
5.2×10.2×3.4

4-17  
ヘンリー・ムーア  
《女のトルソ》  
1984  
ブロンズ  
15.0×5.6×5.0

中西紗和  
《鑄造工程に関する資料》

4-18  
《情緒の体操》  
2024  
砂、ブロンズ等  
作家蔵

中西紗和  
《ブロンズと生活のあいだ》

**A-4**

4-19  
《日用品シリーズ》  
2011-2021  
ブロンズ  
作家蔵

4-20  
《いきものシリーズ》  
2010-2016  
ブロンズ  
作家蔵

4-21  
《たこ》  
2010  
ブロンズ  
3.0×7.0×8.0  
個人蔵

4-22  
《べろいぬ—上目遣い—》  
2016  
ブロンズ  
3.5×10.6×5.2  
作家蔵

4-23  
《べろいぬ—緊張感—》  
2016  
ブロンズ  
6.0×12.0×5.0  
作家蔵

4-24  
《べろいぬ—拒否—》  
2016  
ブロンズ  
7.0×5.0×5.0  
作家蔵

4-25  
《べろいぬ》  
2016  
ブロンズ  
6.5×10.5×4.0  
作家蔵

4-26  
《みみねこー遊ぶー》  
2016  
ブロンズ  
3.5×7.0×4.5  
作家蔵

4-27  
《みみねこー威嚇—》  
2016  
ブロンズ  
1.9×9.0×4.0  
作家蔵

4-28  
《はんげん—休日—》  
2010  
ブロンズ  
7.0×10.0×5.0  
個人蔵

4-29  
《カラオケボックス》  
2017  
ブロンズ、ワックス、布、石等  
19.5×20.0×7.0  
作家蔵

4-30  
《アグニ》  
2019  
ブロンズ、セメント  
10.0×19.0×19.0  
作家蔵

4-31  
《像》  
2024  
ブロンズ、ワックス  
20.0×4.0×6.5  
作家蔵

4-32  
《試合を始めない選手》  
2019  
ブロンズ、ワックス  
2.0×28.0×40.0  
作家蔵

4-33  
《内密》  
2024  
ブロンズ、石膏、麻布  
11.0×12.0×12.0  
作家蔵

4-34  
《はざまに溶け込むものたち》  
2009-2024  
ブロンズ、ワックス、真鍮  
作家蔵

4-35  
《話の起こり》  
2024  
ワックス、布  
作家蔵

4-36  
《in fuse — in ward》  
2013/2024  
ブロンズ、ワックス  
70.0×60.0×140.0  
作家蔵

4-37  
《みる・みえない、みている》  
2024  
アルミ  
42.5×29.0  
作家蔵

4-38  
《uh》  
2011/2024  
ブロンズ、広島市現代美術館で溶かした  
ワックス  
作家蔵